

あなた自身について伺います。	
①	性別 【選択肢 (1) 女性 (2) 男性 (3) その他】
②	年代 (令和3年1月1日現在) 【選択肢 (1) 19・20歳代 (2) 30歳代 (3) 40歳代 (4) 50歳代 (5) 60歳代 (7) 70歳以上】
③	結婚しているか 【選択肢 (1) 結婚している (事実婚を含む) (2) 結婚したが離別・死別 (3) 結婚していない】
④	【 (3) で「している」の方】 共働きしているか (パート内職を含む) 【選択肢 (1) 共働きしている (2) 共働きしていない】
⑤	子どもはいるか 【選択肢 (1) いる (2) いない】
⑥	家族構成 【選択肢 (1) ひとり暮らし (2) 夫婦のみ (3) 親と子 (二世世代家族) (4) 親と子と孫 (三世世代家族) (5) その他】
⑦	職業 【選択肢 (1) 会社員・団体職員 (2) 自由業・自営業・家業 (3) パート・アルバイト (4) 公務員・教員 (5) 主婦・主夫 (6) 学生 (7) 無職 (8) その他】
結婚や家庭生活についてお伺いします	
⑧	あなたは、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方についてどう思いますか。(ここでの家庭生活とは、仕事以外の全ての生活をいいます)
選択肢 (1)	賛成
選択肢 (2)	どちらかといえば賛成
選択肢 (3)	どちらともいえない
選択肢 (4)	どちらかといえば反対
選択肢 (5)	反対
⑨	仕事と生活について、あなたの考えに近いものを1つ選んでください(ここでの家庭生活とは、仕事以外の全ての生活をいいます)
選択肢 (1)	仕事を優先したい
選択肢 (2)	「家庭生活」を優先したい
選択肢 (3)	「仕事」と「家庭生活」ともに優先したい
選択肢 (4)	わからない
⑩	仕事と家庭生活について、あなたの現実(現状)に近いものを1つ選んでマークしてください。(ここでの家庭生活とは、仕事以外の全ての生活をいいます)
選択肢 (1)	「仕事」を優先している
選択肢 (2)	「家庭生活」を優先している
選択肢 (3)	「仕事」と「家庭生活」をともに優先している
選択肢 (4)	わからない
⑪	あなたは、1日に平均してどれくらいの時間を家事(育児・介護を含む)にかけていますか。【選択肢 (1) 全くしていない (2) 30分未満 (3) 30分以上1時間未満 (4) 1時間以上2時間未満 (5) 2時間以上3時間未満 (6) 3時間以上】
1	平日
2	休日
※「家事(育児・介護を含む)」とは、育児、介護、食事の支度・片付け、掃除、洗濯、買い物、ゴミ出し、地域活動、子どもの行事とします。	
教育・子育て・介護についてについてお伺いします	
⑫	あなたは、子どもの育て方について、どのように考えますか。【選択肢 (1) 賛成 (2) どちらかといえば賛成 (3) どちらともいえない (4) どちらかといえば反対 (5) 反対】
1	男女を問わず、経済的に自立できるように育てた方がよい
2	男性はたくましく、女性は家庭的であると好まれる傾向もあるので、そのように育てた方がよい。
3	男女を問わず、生まれ持った個性・才能を可能な限り活かして育てた方がよい
⑬	令和元年度の厚生労働省の調査によると、育児休業の取得割合は女性83.0%、男性7.48%でした。 あなたは、男性の育児休暇の取得が進まない理由は何だと思えますか。あてはまるものから3つまで選んでマークしてください。 (育児休業とは、子どもが2歳になるまでに取得できる育児休暇のことをいいます。)
選択肢 (1)	自分の仕事の代わりにしてくれる人がいないから
選択肢 (2)	同僚の理解が得られないから
選択肢 (3)	上司の理解が得られないから
選択肢 (4)	収入が減るから
選択肢 (5)	人事評価や昇給に影響があると思うから
選択肢 (6)	休む必要がないから
選択肢 (7)	育児に自信がないから
選択肢 (8)	育児休業の取得の前例がないから
選択肢 (9)	男性が育児休業を取得するのは恥ずかしいから
選択肢 (10)	わからない
選択肢 (11)	その他()
⑭	令和元年度の厚生労働省の調査によると、介護休業の取得割合は女性61.1%、男性38.9%でした。 あなたは、男性の介護休暇の取得が進まない理由は何だと思えますか。あてはまるものから3つまで選んでマークしてください。(介護休業とは、対象者1人に対し3回、93日取得できる休暇のことをいいます。)
選択肢 (1)	自分の仕事の代わりにしてくれる人がいないから
選択肢 (2)	同僚の理解が得られないから
選択肢 (3)	上司の理解が得られないから
選択肢 (4)	収入が減るから
選択肢 (5)	人事評価や昇給に影響があると思うから
選択肢 (6)	休む必要がないから
選択肢 (7)	介護に自信がないから
選択肢 (8)	介護休業の取得の前例がないから
選択肢 (9)	男性が介護休業を取得するのは恥ずかしいから
選択肢 (10)	わからない
選択肢 (11)	その他()
育児休業、介護休業について、アンケートの最後のページ裏面で説明しています。	

あなた自身について伺います。		設問と施策の方向性との整合性 (なぜ当該設問を設計したのかを、第3次プランの施策の方向性を整合させながら整理)
①	性別 【選択肢 (1) 女性 (2) 男性 (3) その他】	無(分析に必須の設問)
②	年代 (令和8年1月1日現在) 【選択肢 (1) 19・20歳代 (2) 30歳代 (3) 40歳代 (4) 50歳代 (5) 60歳代 (6) 70歳以上】	無(分析に必須の設問)
③	結婚しているか 【選択肢 (1) 結婚している (事実婚を含む) (2) 結婚したが離別・死別 (3) 結婚していない】	無(分析に必須の設問)
④	【 (3) で「している」の方】 共働きしているか (パートや内職を含む) 【選択肢 (1) 共働きしている (2) 共働きしていない】	無(分析に必須の設問)
⑤	子どもはいるか 【選択肢 (1) いる (2) いない】	無(分析に必須の設問)
⑥	家族構成 【選択肢 (1) ひとり暮らし (2) 夫婦のみ (事実婚を含みます) (3) 親と子 (二世世代家族) (4) 親と子と孫 (三世世代家族) (5) その他】	無(分析に必須の設問)
⑦	職業 【選択肢 (1) 会社員・団体職員 (2) 自由業・自営業・家業 (3) パート・アルバイト (4) 公務員・教員 (5) 主婦・主夫 (6) 学生 (7) 無職 (8) その他】	無(分析に必須の設問)
結婚や家庭生活についてお伺いします		
⑧	あなたは、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方についてどう思いますか。(ここでの家庭生活とは、仕事以外の全ての生活をいいます)	(1) 男女共同参画の意識づくり(基本目標Ⅰ) (3) 家庭や地域における男女共同参画の推進(基本目標Ⅱ) (5) 女性の活躍推進への意識改革(基本目標Ⅲ)
選択肢 (1)	賛成	
選択肢 (2)	どちらかといえば賛成	
選択肢 (3)	どちらともいえない	
選択肢 (4)	どちらかといえば反対	
選択肢 (5)	反対	
⑨	仕事と生活について、あなたの考えに近いものを1つ選んでください(ここでの家庭生活とは、仕事以外の全ての生活をいいます)	(5) 女性の活躍推進への意識改革(基本目標Ⅲ)
選択肢 (1)	仕事を優先したい	
選択肢 (2)	「家庭生活」を優先したい	
選択肢 (3)	「仕事」と「家庭生活」ともに優先したい	
選択肢 (4)	わからない	
⑩	仕事と家庭生活について、あなたの現実(現状)に近いものを1つ選んでマークしてください。(ここでの家庭生活とは、仕事以外の全ての生活をいいます)	(5) 女性の活躍推進への意識改革(基本目標Ⅲ)
選択肢 (1)	「仕事」を優先している	
選択肢 (2)	「家庭生活」を優先している	
選択肢 (3)	「仕事」と「家庭生活」をともに優先している	
選択肢 (4)	わからない	
⑪	あなたは、1日に平均してどれくらいの時間を家事(育児・介護を含む)にかけていますか。【選択肢 (1) 全くしていない (2) 30分未満 (3) 30分以上1時間未満 (4) 1時間以上2時間未満 (5) 2時間以上3時間未満 (6) 3時間以上】	(3) 家庭や地域における男女共同参画の推進(基本目標Ⅱ) (6) 女性の活躍に向けた働きやすい環境づくり(基本目標Ⅲ)
1	平日	
2	休日	
※「家事(育児・介護を含む)」とは、育児、介護、食事の支度・片付け、掃除、洗濯、買い物、ゴミ出し、地域活動、子どもの行事とします。		
教育・子育て・介護についてについてお伺いします		
⑫	あなたは、子どもの育て方について、どのように考えますか。【選択肢 (1) 賛成 (2) どちらかといえば賛成 (3) どちらともいえない (4) どちらかといえば反対 (5) 反対】	(6) 女性の活躍に向けた働きやすい環境づくり(基本目標Ⅲ)
1	男女を問わず、経済的に自立できるように育てた方がよい	
2	男性はたくましく、女性は家庭的であると好まれる傾向もあるので、そのように育てた方がよい。	
3	男女を問わず、生まれ持った個性・才能を可能な限り活かして育てた方がよい	
4	男女を問わず、炊事・洗濯・掃除など生活に必要な技術が身につくように育てた方がよい	
⑬	令和6年度の厚生労働省の調査によると、育児休業の取得割合は女性86.6%、男性40.5%でした。 あなたは、男性の育児休暇の取得が女性と比べて進まない理由は何だと思えますか。あてはまるものから3つまで選んでマークしてください。 (育児休業とは、原則として子どもが1歳になるまでに取得できる育児休暇のことをいいます。)	(6) 女性の活躍に向けた働きやすい環境づくり(基本目標Ⅲ)
選択肢 (1)	自分の仕事の代わりにしてくれる人がいないから	
選択肢 (2)	同僚の理解が得られないから	
選択肢 (3)	上司の理解が得られないから	
選択肢 (4)	収入が減るから	
選択肢 (5)	人事評価や昇給に影響があると思うから	
選択肢 (6)	休む必要がないから	
選択肢 (7)	育児に自信がないから	
選択肢 (8)	育児休業の取得の前例がないから	
選択肢 (9)	男性が育児休業を取得するのは恥ずかしいから	
選択肢 (10)	わからない	
選択肢 (11)	その他()	
⑭	令和6年度の厚生労働省の調査によると、介護休業の取得割合は女性69.7%、男性30.3%でした。 あなたは、男性の介護休暇の取得が女性と比べて進まない理由は何だと思えますか。あてはまるものから3つまで選んでマークしてください。(介護休業とは、対象者1人に対し3回、93日取得できる休暇のことをいいます。)	(6) 女性の活躍に向けた働きやすい環境づくり(基本目標Ⅲ)
選択肢 (1)	自分の仕事の代わりにしてくれる人がいないから	
選択肢 (2)	同僚の理解が得られないから	
選択肢 (3)	上司の理解が得られないから	
選択肢 (4)	収入が減るから	
選択肢 (5)	人事評価や昇給に影響があると思うから	
選択肢 (6)	休む必要がないから	
選択肢 (7)	介護に自信がないから	
選択肢 (8)	介護休業の取得の前例がないから	
選択肢 (9)	男性が介護休業を取得するのは恥ずかしいから	
選択肢 (10)	わからない	
選択肢 (11)	その他()	

夫婦や恋人同士などの暴力についてお伺いします	
⑰	夫婦や恋人同士などの親しい間で、身体的・心理的な暴力を受けること（ドメスティック・バイオレンス＝DV）が問題となっていますが、あなたは、5年以内に次のようなことをしたりされたりしたことがありますか。 【選択肢（1）されたことがある（2）したことがある（3）どちらもある（4）どちらも無い】
1	殴る、蹴る、髪を引っ張る、首をしめる、物を投げつけるなど身体的な暴力
2	性行為の強要
3	大声でどなったり、暴言を吐く
4	「女（男）のくせに」、「女（男）だから」と差別する
5	「誰のおかげで生活できるんだ」とか「甲斐性なし」とのしる
6	交友関係や電話、SNS、お金の使い道などを細かく監視する
7	社会活動や就職などを許さない
8	デート費用等を全く払わない、生活費などを渡さないなど、経済的に押さえつける
9	病気などで体が動かせない時なども、食事の支度をさせる
10	何を言っても、無視し続ける
11	その他（ ）
⑱	【⑰で「されたことがある」や「どちらもある」を1つでも回答された方】あなたは、そのような行為を受けた時、どうしましたか。（複数回答）
選択肢（1）	我慢した
選択肢（2）	謝ったり、なだめたりした
選択肢（3）	抵抗してやり返した
選択肢（4）	家族・親族に相談した
選択肢（5）	友人に相談した
選択肢（6）	婦人相談所や市役所などの相談窓口相談した
選択肢（7）	医師やカウンセラーに相談した
選択肢（8）	民間の支援グループに相談した
選択肢（9）	警察へ通報した
選択肢（10）	逃げた
選択肢（11）	家を出た（別居した）
選択肢（12）	離婚した
選択肢（13）	相談しようとは思わなかった
選択肢（14）	無視した
選択肢（15）	その他（ ）
⑲	【⑱で「1.我慢した」や「13.相談しようとは思わなかった」と回答された方】それはなぜですか。（複数回答）
選択肢（1）	どこ（誰）に相談してよいかわからなかったから
選択肢（2）	恥ずかしくて誰にも言えなかったから
選択肢（3）	相談しても無駄だと思ったから
選択肢（4）	相談したことがわかると、仕返しをされたり暴力がさらにひどくなると思ったから
選択肢（5）	相談担当者の言動により、不快な思いをすと思ったから
選択肢（6）	自分さえ我慢すれば、何とかこのままやっていけると思ったから
選択肢（7）	世間体が悪いから
選択肢（8）	他人を巻き込みたくなかったから
選択肢（9）	被害を受けた事を忘れたかったから
選択肢（10）	自分にも悪いことがあると思ったから
選択肢（11）	相談するほどのことではないと思ったから
選択肢（12）	その他（ ）
⑳	あなたは、DVや性犯罪をなくすためには、どうしたらよいと思いますか。（複数回答）
選択肢（1）	法律・制度の制定や見直しを行う
選択肢（2）	DV防止法やストーカー規制法など法律・制度の周知を図る
選択肢（3）	法律に盛り込まれた施策を十分に展開する
選択肢（4）	犯罪の取り締まりを強化する
選択肢（5）	捜査や裁判での担当者に女性を増やし、被害者が届けやすいようにする
選択肢（6）	被害者を支援し、暴力に反対する市民運動を盛り上げる
選択肢（7）	被害者が安心して相談できる窓口を確保する
選択肢（8）	被害者を保護するための施設を整備する
選択肢（9）	家庭における男女平等や性についての教育を充実させる
選択肢（10）	テレビや新聞などのメディア自主的な規制をする
選択肢（11）	その他（ ）

夫婦や恋人同士などの暴力についてお伺いします		
⑰	夫婦や恋人同士などの親しい間で、身体的・心理的な暴力を受けること（ドメスティック・バイオレンス＝DV）が問題となっていますが、あなたは、5年以内に次のようなことをしたりされたりしたことがありますか。 【選択肢（1）されたことがある（2）したことがある（3）どちらもある（4）どちらも無い】	(12) DVを許さない意識づくりの推進（基本目標V）
1	殴る、蹴る、髪を引っ張る、首をしめる、物を投げつけるなど身体的な暴力	
2	性行為の強要	
3	避妊に協力しない	
4	大声でどなったり、暴言を吐く	
5	「女（男）のくせに」、「女（男）だから」と差別する	
6	「誰のおかげで生活できるんだ」とか「甲斐性なし」などと相手の人格をおとしめる	
7	交友関係や電話、SNS、お金の使い道などを細かく監視する	
8	社会活動や就職などを許さない	
9	デート費用等を全く払わない、生活費などを渡さないなど、経済的に押さえつける	
10	病気などで体が動かせない時なども、食事の支度をさせる	
11	何を言っても、無視し続ける	
12	その他（ ）	
⑱	【⑰で「されたことがある」や「どちらもある」を1つでも回答された方】あなたは、そのような行為を受けた時、どうしましたか。（複数回答）	(12) DVを許さない意識づくりの推進（基本目標V） (13) 安心して相談できる体制の整備（基本目標V） (14) 被害者支援の充実（基本目標V） (15) 関係機関の連携・協力（基本目標V）
選択肢（1）	我慢した	
選択肢（2）	謝ったり、なだめたりした	
選択肢（3）	抵抗してやり返した	
選択肢（4）	家族・親族に相談した	
選択肢（5）	友人に相談した	
選択肢（6）	婦人相談所や市役所などの相談窓口相談した	
選択肢（7）	医師やカウンセラーに相談した	
選択肢（8）	民間の支援グループに相談した	
選択肢（9）	警察へ通報した	
選択肢（10）	逃げた	
選択肢（11）	家を出た（別居した）	
選択肢（12）	離婚した	
選択肢（13）	相談しなかった	
選択肢（14）	無視した	
選択肢（15）	その他（ ）	
⑲	【⑱で「1.我慢した」や「13.相談しなかった」と回答された方】それはなぜですか。（複数回答）	(12) DVを許さない意識づくりの推進（基本目標V） (13) 安心して相談できる体制の整備（基本目標V）
選択肢（1）	どこ（誰）に相談してよいかわからなかったから	
選択肢（2）	恥ずかしくて誰にも言えなかったから	
選択肢（3）	相談しても無駄だと思ったから	
選択肢（4）	相談したことがわかると、仕返しをされたり暴力がさらにひどくなると思ったから	
選択肢（5）	相談担当者の言動により、不快な思いをすと思ったから	
選択肢（6）	自分さえ我慢すれば、何とかこのままやっていけると思ったから	
選択肢（7）	世間体が悪いから	
選択肢（8）	他人を巻き込みたくなかったから	
選択肢（9）	被害を受けた事を忘れたかったから	
選択肢（10）	自分にも悪いことがあると思ったから	
選択肢（11）	相談するほどのことではないと思ったから	
選択肢（12）	その他（ ）	
⑳	あなたは、DVや性犯罪をなくすためには、どうしたらよいと思いますか。（複数回答）	(2) 男女共同参画に関する教育・学習の推進（基本目標1） (14) 被害者支援の充実（基本目標V） (15) 関係機関の連携・協力（基本目標V）
選択肢（1）	法律・制度の制定や 厳罰化 などの見直しを行う	
選択肢（2）	DV防止法やストーカー規制法など法律・制度の周知を図る	
選択肢（3）	法律に盛り込まれた施策を十分に展開する （被害者に対する相談・保護の拡充など）	
選択肢（4）	犯罪の取り締まりを強化する	
選択肢（5）	捜査や裁判での担当者に女性を増やし、被害者が届けやすいようにする	
選択肢（6）	被害者を支援し、暴力に反対する市民運動を盛り上げる	
選択肢（7）	被害者が安心して相談できる窓口を確保する	
選択肢（8）	被害者を保護するための施設を整備する	
選択肢（9）	家庭や 学校、地域 における男女平等や性についての教育を充実させる	
選択肢（10）	テレビや新聞などのメディア自主的な規制をする	
選択肢（11）	その他（ ）	

男女共同参画社会についてお伺いします	
㉔	これらの言葉や内容を知っていますか。 【選択肢 (1) 聞いたことがあり、内容まで知っている (2) 聞いたことはあるが、内容は知らない (3) 聞いたことがない】
1	男女共同参画社会基本法
2	小城市男女共同参画プラン（さくらプラン）
3	女性活躍推進法
4	女性のエンパワーメント
5	ワーク・ライフ・バランス
6	育児・介護休業法
7	ハラスメント規制法
8	セクシュアル・ハラスメント（セクハラ）
9	セクシュアル・マイノリティ
10	LGBT（LGBTs）
11	DV防止法
12	ドメスティック・バイオレンス（DV）
13	面前DV
14	デートDV
15	ジェンダー平等 ※SDG s 第5の目標
16	アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）
㉕	次にあげる分野で、男女は平等だと思いますか 【選択肢 (1) 男性の方が非常に優遇されている (2) どちらかといえば男性の方が優遇されている (3) 平等 (4) どちらかといえば女性の方が優遇されている (5) 女性の方が非常に優遇されている (6) わからない】
1	家庭生活
2	就職・採用
3	職場
4	学校教育の場
5	地域や社会活動の場
6	政治の場
7	法律・制度上
8	慣習・しきたり
9	社会全体
㉖	男女共同参画社会を進めるために、小城市では、今後どのようなことを推進したほうがよいと思いますか（複数回答）
選択肢 (1)	男女共同参画についての理解を深めるための情報の提供を充実する
選択肢 (2)	男女共同参画に関する講座や講演会などを充実する
選択肢 (3)	男女共同参画に関する学習・活動・情報・ネットワークなどの拠点となる施設を設置する
選択肢 (4)	男性の家事能力を高めるような講座を行う
選択肢 (5)	企業・地域など、あらゆる分野で女性の積極的な登用をすすめるためのPRをする
選択肢 (6)	各種団体などの女性リーダーを養成する
選択肢 (7)	地域で男女平等をすすめる生涯学習の場や機会を充実する
選択肢 (8)	職場における男女の均等な取り扱いに関して企業等へ働きかける
選択肢 (9)	学校における男女平等教育を充実する
選択肢 (10)	保育所・放課後児童クラブ（学童保育）などの子育て環境を充実する
選択肢 (11)	女性の就労機会が増えるよう、就労情報の提供や職業訓練の機会を提供する
選択肢 (12)	審議会などの行政の施策方針を決定する場に女性の参画を促進する
選択肢 (13)	市役所がモデルとなり女性管理職の登用など女性職員の積極的な登用と配置を行う
選択肢 (14)	あらゆる暴力の根絶・防止に向けた取り組みを強化する
選択肢 (15)	相談事業の充実やDV被害者のための一時保護施設を設置する
選択肢 (16)	その他（ ）
選択肢 (17)	推進する必要はない
選択肢 (18)	わからない
㉗	【自由意見】男女共同参画に関してご意見・ご要望がありましたら、どのようなことでも結構ですのでお書きください

男女共同参画社会についてお伺いします		
㉔	これらの言葉や内容を知っていますか。 【選択肢 (1) 聞いたことがあり、内容まで知っている (2) 聞いたことはあるが、内容は知らない (3) 聞いたことがない】	無（分析に必須の設問）
1	男女共同参画社会基本法	
2	小城市男女共同参画プラン（さくらプラン）	
3	女性活躍推進法	
4	女性のエンパワーメント	
5	ワーク・ライフ・バランス	
6	育児・介護休業法	
7	ハラスメント規制法	
8	セクシュアル・ハラスメント（セクハラ）	
9	LGBT（LGBTQ+）	
10	DV防止法	
11	ドメスティック・バイオレンス（DV）	
12	面前DV	
13	デートDV	
14	ジェンダー平等 ※SDG s 第5の目標	
15	アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）	
16	フェムケア	
17	プレコンセプションケア	
㉕	次にあげる分野で、男女は平等だと思いますか 【選択肢 (1) 男性の方が非常に優遇されている (2) どちらかといえば男性の方が優遇されている (3) 平等 (4) どちらかといえば女性の方が優遇されている (5) 女性の方が非常に優遇されている (6) わからない】	(1) 男女共同参画の意識づくり (6) 女性の活躍に向けた働きやすい環境づくり（基本目標III）
1	家庭生活	
2	就職・採用	
3	職場	
4	学校教育の場	
5	地域や社会活動の場	
6	政治の場	
7	法律・制度上	
8	慣習・しきたり	
9	社会全体	
㉖	男女共同参画社会を進めるために、小城市では、今後どのようなことを推進したほうがよいと思いますか（複数回答）	(4) 政策・方針決定過程への男女共同参画の推進（基本目標II） (7) 庁内における男女共同参画の推進（基本目標III）
選択肢 (1)	男女共同参画についての理解を深めるための情報の提供を充実する	
選択肢 (2)	男女共同参画に関する講座や講演会などを充実する	
選択肢 (3)	男女共同参画に関する学習・活動・情報・ネットワークなどの拠点となる施設を設置する	
選択肢 (4)	男性の家事能力を高めるような講座を行う	
選択肢 (5)	企業・地域など、あらゆる分野で女性の積極的な登用をすすめるためのPRをする	
選択肢 (6)	男女共同参画を推進する団体や女性リーダーの育成を支援する	
選択肢 (7)	地域で男女平等をすすめる生涯学習の場や機会を充実する	
選択肢 (8)	職場における男女の均等な取り扱いに関して企業等へ働きかける	
選択肢 (9)	学校における男女平等教育を充実する	
選択肢 (10)	保育所・放課後児童クラブ（学童保育）などの子育て環境を充実する	
選択肢 (11)	女性の就労機会が増えるよう、就労情報の提供や職業訓練の機会を提供する	
選択肢 (12)	審議会などの行政の施策方針を決定する場に女性の参画を促進する	
選択肢 (13)	市役所がモデルとなり女性管理職の登用など女性職員の積極的な登用と配置を行う	
選択肢 (14)	あらゆる暴力の根絶・防止に向けた取り組みを強化する	
選択肢 (15)	相談事業の充実やDV被害者のための一時保護施設を設置する	
選択肢 (16)	家族親などについて幅広い世代で意見交換する	
選択肢 (17)	その他（ ）	
選択肢 (18)	推進する必要はない	
選択肢 (19)	わからない	
㉗	【自由意見】男女共同参画に関してご意見・ご要望がありましたら、どのようなことでも結構ですのでお書きください	その他（様々な意見を聞くために、自由意見欄は必須）